

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年2月16日

事業所名 えがお

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		必要なスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			基準は満たしていますが、お客様の利用人数により職員の不足があります。シフトの再確認を行っていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		フラットなスペースでバリアフリー対応のトイレの広さがあります。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		目標設定と振り返りに時間が取れるよう、時間の使い方の効率化を図っていきたく思います。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートを実施して結果を検討し、改善につなげるようにします。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページでの公開をしています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		必要な研修を実施しています。外部の研修の機会に参加するようにしています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		様々な連絡手段をとって、アセスメントを実施し、計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月のイベント決めは全員で行い、個々で案を出し合っています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々の状態に応じてプログラムを実施しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		個々に必要な活動と、集団でのおでかけやイベント等活動を組み合わせるようにしていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		必ずではないので毎日行うことを徹底していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			日々記録を取って振り返り、改善していきます。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングをもとに計画の見直しを実施しています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている		○		ニーズに応じて様々な活動を行っていますが、改善の余地があります。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		お子様の状況をよく把握している職員が参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		確認できていないときもあるので、情報共有を行い職員全体に周知していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		※該当者がいない	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ渦であった為に実施できていません。他店舗との交流等他者との交流ができる場の提供を今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加するようにしています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○		保護者様と定期的に面談やお話を行っていきたく思います。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		送迎時等に話をしています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をさせていただいております。	不明な点は随時職員が説明をさせていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて連絡を取るようにしています。	保護者様からの相談を受けた場合に限らず、気になったことがあれば状況や対応を伝えるようにしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者様同士が同じ悩みを相談できるように親睦会を定期的に実施できればと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情等があった際には速やかに対応できるよう努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報保護について職員に周知していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的に分かりやすくなるよう配置するなど、伝える方法をお子様や保護者様に合わせるよう	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			職員の話し合いの場にて対応方法の確認を行ったり、周知・訓練に日々努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		シチュエーションを設定して、避難訓練を実施するようにしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に虐待防止研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			対象児童がいる場合は個別支援計画に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者様から健康状態を把握し必要に応じて聞き取りを行っていきます。健康上の配慮注意点については職員が意識できるよう徹的な確認と周知を行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			作成するだけでなく職員全体に周知今後の改善策につなげていきます。